

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	浜田市における下水道事業の推進											
計画の期間	平成 31 年度 ~ 令和 04 年度 (4年間)											重点配分対象の該当 <input checked="" type="checkbox"/>
交付対象	浜田市											
計画の目標	下水道未普及地域の解消により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全を図る。 老朽化のため修繕費が増加している農集・漁集の施設を公共の三保三隅処理区に統合し、汚水処理の統一化を図る。											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	471	A	471	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
					H31当初	H34末		
1	下水道処理人口普及率を12.0%（H31）から13.5%（H34）に増加 行政区域内の総人口に占める下水道処理区域内人口の割合 下水道処理人口普及率 = (下水道処理人口) / (行政人口)				12%	%	14%	

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

浜田市において評価を行い確定

事後評価の実施時期

令和6年8月

公表の方法

浜田市ホームページで公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

三隅地域の農集及び漁集を公共下水道に統合することにより、12.0%から14.3%に増加した。
統合により老朽化した施設の更新費用や維持管理費が削減され、維持管理の効率化により、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全が図れた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き、下水道未普及地域の解消を行うため、浜田処理区整備事業を進め、快適な生活環境の創出と良好な水環境の保全を図る。

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道処理人口普及率		
	最終目標値	14%	
	最終実績値	14%	